

「ヘルスケア・ニューフロンティア戦略（仮称）素案」に関する意見募集の結果

■ 意見募集期間

平成29年12月25日（月曜日）から平成30年1月26日（金曜日）

■ 意見募集結果の概要

(1) 意見内容の概要

意見提出件数：151件

意見提出者数：113名・団体

区 分	延べ件数
1：戦略策定のねらいについて	13件
2：第1章・基本的な考え方について	12件
3：第2章・未病コンセプトについて	2件
4：第3章・国の政策との連携について	2件
5：第4章・具体的な取組みについて	102件
6：第5章・各主体に対する取組みの強化について	6件
7：用語その他について	14件
合 計	151件

(2) 県の考え方の概要

区 分	延べ件数
A：計画（案）に反映するもの （一部反映、意見の趣旨が既に素案に盛り込んであるものを含む）	46件
B：計画（案）には反映しないが、既に取り組んでいるもの	23件
C：今後の取組みの参考にするもの	32件
D：反映できないもの	1件
E：その他（感想や質問等）	49件
合 計	151件

- ヘルスケア・ニューフロンティア戦略（仮称）素案に対する意見とそれに対する県の考え方一覧
- 期間：平成29年12月25日（月）～平成30年1月26日（金）

<意見内容区分>

- 1 戦略策定のねらいについて
- 2 第1章 基本的な考え方について
- 3 第2章 未病コンセプトについて
- 4 第3章 国の政策との連携について
- 5 第4章 具体的な取組みについて
- 6 第5章 各主体に対する取組みの強化について
- 7 用語その他について

<反映区分>

- A 計画(案)に反映するもの(一部反映意見の趣旨が既に素案に盛り込んであるものを含む)
- B 計画(案)には、反映しないが、既に取り組んでいるもの
- C 今後の取組みの参考にするもの
- D 反映できないもの
- E その他(感想や質問等)

延べ件数	意見内容区分	意見の概要	反映区分	県の考え方
1	2	メタボは太ってみると見た目が分かる人であり、一方で未病は見た目がふつうの人に対するものである。未病の改善を掲げる中で、何故、目標としてメタボ指標を掲げるのか。	E	ご意見をいただきました、目標としてのメタボリスク指標については、まずは、未病の改善にあたって、個人の行動変容の効果が最も期待される生活習慣病領域であり、その入り口となる「メタボ」をターゲットとしております。その他の領域に関する未病指標についても、順次構築・活用を図ります。
2	6	概要版の7ページに自治体の役割として個人の未病改善をサポートする環境の整備という表現があるが、どういう含意なのか分からない。	E	ご意見については、「住民が地域の中で未病指標を活用して自然と未病改善の取組みに参加できる場づくり」「企業等の商品・サービスの積極的活用により、個人に最適な未病改善メニューを提供」の趣旨であり、第5章 各主体に対する取組みの強化の中にその旨を記載しております。
3	1	市町村の施策を後押しするということをもっとわかりやすく伝えられればよいだろう。	A	ご意見については、第5章 各主体に対する取組みの強化中、(5)自治体(市町村)に対する県の取組みとして、未病指標の活用や未病改善行動へのインセンティブ提供等の健康づくり後押しし、一体的に未病改善を推進ことを記載しております。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
4	5	未病や最先端の新たな産業を興していこうとするには、産業構造の変化も捉えた上で、人材やリソースの活用を整理する必要があるのではないか。	A	ご意見については、その趣旨を踏まえプランを策定しておりますが、引き続きこうした点を考慮してまいります。
5	3	未病について、やっていることが良い悪いではなく、浸透していない。未だ病にあらずという理解。未病を健康寿命の延伸に置き換えれば、違和感はない。900万人の人口、行動変容を促す仕掛けがないと広がっていくことは難しいと思える。	A	ご意見については、「未病」は心身の状態を健康と病気の間で連続的に変化するものとして捉え、この全ての変化の過程を表す概念であり、健康寿命の延伸とは異なるものです。行動変容を促す仕掛けとして、自分の現在の未病の状態や将来の疾病リスクを数値で見える化する「未病指標」を構築し活用していくことや、未病改善を進めるきっかけづくりの場として設置する未病センターの活用促進を、本プランにも記載しております。
6	7	保健医療計画との整合性はどうか。	A	ご意見については、最先端医療・最新技術の取組みや「マイM E－B Y Oカルテ」の普及拡大など、県保健医療計画と整合を図ったうえで、本プランを策定しています。
7	5	ヘルスイノベーションスクールについて、公衆衛生学修士課程であるなど、スクールの具体的なことが分かるように本文中に記すべきではないか。	A	ご意見については、6つの柱の取組みである人材育成(ヘルスイノベーションスクール)中に記載しました。
8	7	県民にわかりやすく説明するとなっているが、カタカナの専門用語が多い。例えば、「イノベーションの力で・・・」「ヘルスケアの分野で・・・」「ライフスタイル」「ライフステージ」「IoT、AI」「の健康リテラシー」「エビデンス」「アカデミア」など専門家などに向けたものであれば問題ないと思うが、県民にわかりやすく説明するにはそうした表現を改めるか、注釈が必要だと思う。県内は高齢者が多いしこれから多くなるとしているのだから、なおさらわかりやすい表現にしておかないと意味伝わらないと思う。	A	ご意見については、本文もしくは用語欄の記載に反映しました。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
9	7	説明が不足している用語があると思います。例えば、「スマイル 100 歳社会」とは何か。「マイMEーBYOカルテ」とは何か。「県内企業等がMOU（覚書）締結先の大学等と」「個人の行動変容につなげるための環境の整備」「実証フィールドの提供等」など専門家などに向けたものであれば問題ないと思うが、県民にわかりやすく説明するにはそうした表現を改めるか、注釈が必要だと思う。	A	ご意見については、本文もしくは用語欄の記載に反映しました。
10	1	頻繁にでてくる「県の強み」とは何かがわからない。神奈川県に住んでいると、他都道府県に住んでいるよりも、いいことがあるということになるのか。神奈川県にはあって、他県にはないのはなんなのか。	E	ご意見については、「神奈川の強みを生かす」として、本文中に次のように記載させていただいております。「神奈川は、明治維新の「開港・開国の地」であり、世界に開かれた窓として、先進的な取組みを行う地域性を持っています。これまで、地方の時代の提唱、ベンチャー企業のインキュベート、情報公開、男女共同参画、NPO活動の促進など、様々な新しい政策に先導的に取組み、国の政策の基盤を創り出してきました。また、神奈川県は、首都圏にあって利便性が高く、多くの技術力のある企業や研究機関・アカデミアが集積して人材が豊かで、国家戦略特区をはじめ3つの特区が活用できるなど可能性にあふれており、全国でもトップクラスの科学技術立県として最先端医療の提供や最新技術の研究開発を行う環境が整っています。」 また、ヘルスケア・ニューフロンティアの取組みによる成果を、いち早く享受できるメリットが県民の皆様にはございます。
11	1	社会保障制度の継続が困難になるとの記載もあるが、県内に住んでいると、社会保障制度が崩壊しても問題がないということになるのか。	E	ご意見については、現行の社会システムを継続させることが困難となりつつある中で、来たるべき超高齢社会を乗り越えていくために、神奈川県がヘルスケア・ニューフロンティアの取組みを進めることで、新たな社会システムづくりに取り組んでいくことを記述したものです。
12	7	全体的に、最先端の話が頻繁に出てきているが、色の使い方や絵図などがどこことなく古臭い印象がある。特に、5ページの図の紫？や、6ページ以降のオレンジをつかったのはどのような意味をもっているのか。	C	ご意見については、各ページの図等において、項目や説明文等の違いを明確にするために色分けをしているものです。今後の資料作成等の際の参考とさせていただきます。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
13	5	<p>産業の創出・育成の視点は大事なことでありますが、県民の暮らしに直接反映される新たな政策も加味されてはと思います。</p> <p>1) 県民の健康運動リテラシーの醸成 地域の社会福祉協議会等を通じて、健康寿命の増進に資する出前授業（講義・講演）等を実施するなど、住民の健康リテラシーを高める活動の推進。県主導による県民の健康ライフスタイルの改善、あらゆる年齢層を対象としたスポーツの振興（ラジオ体操や太極拳などの地域コミュニティの創出育成や日頃スポーツになじみの無い人でも気軽に参加できるスポーツイベントの開催など）。</p>	B	<p>ご意見の健康運動リテラシーの向上については、未病（ME－BYO）の取組みの中で、「食・運動・社会参加」を中心とした未病改善に主体的に取り組めるよう、住民に身近な市町村と連携しライフステージに応じた未病対策や未病改善の環境づくりに取組む方向性を記載しています。</p> <p>B スポーツの振興など、県政の幅広い分野の取組みについては、プランには記載しませんが、その趣旨で取り組んでいます。</p>
14	5	<p>産業の創出・育成の視点は大事なことでありますが、県民の暮らしに直接反映される新たな政策も加味されてはと思います。</p> <p>2) 食品嗜好品への取り組み 明らかに健康に悪いとされている、塩分の取り過ぎや喫煙についての具体的対策の強化。ロンドンでは塩分を含む食料品の塩分濃度を毎年少しずつ低減する（少量の濃度軽減を毎年少しずつ数年行えば味の変化はそれほど感じられないで塩分濃度を下げられるそうです）政策を実施し、医療費削減に成功している。例えば、県内で製造・販売される食品に含まれる塩分濃度に制限をかけると県民はより健康になり他県の消費者も県内で販売される食品を安心して購入するようになる可能性がある。また、県内で販売されるタバコのパッケージには海外で行われているような、健康への害を強調した写真やコピーを印刷して販売するなどすれば、まだ喫煙を始めていない青少年にもタバコの害をアピールできる。また、マクロ的に見るとタバコの税収は減るが医療費の削減に繋がる可能性がある。禁煙対策に県が率先して取り組まれては如何でしょうか（禁煙外来診療費を補助するとか）。オリンピックも近いことですし。</p>	B	<p>ご意見の食塩の取りすぎについては、高血圧症、ひいては脳卒中や心臓病を起こしやすくなると言われており、県として、今後とも企業等と連携して普及啓発などに取り組んでまいります。</p> <p>B 禁煙対策については、たばこにより健康被害を受けた肺や歯の画像も掲載し、たばこによる健康被害を視覚でも理解できるようにリーフレット等を配布し、普及啓発に努めています。また、卒煙（禁煙）サポートとして、ホームページでの禁煙外来の紹介を含め禁煙相談や禁煙教育などに取り組んでまいります。</p>
15	5	<p>未病指標は、県とどこが作っていくのか。</p>	E	<p>ご意見については、メタボリスク指標について、県が東京大学COIと連携して構築を進めています。その他の指標については有識者による研究会で、既存の指標の活用も含め、どのような指標が適切かなどについて議論しています。</p>
16	2	<p>企業としては、メンタルヘルス・ストレスの分野を注目するが、この分野の未病を数値化していくのは難しいのではないか。</p>	E	<p>ご意見については、有識者による研究会でメンタルヘルス・ストレス分野の指標について検討してまいります。</p>

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
17	5	その人全体の未病指標を作るのは難しいのではないか。	E	ご意見については、有識者による研究会で、全体的（総合的）未病指標について検討してまいります。
18	5	未病産業とは、どういうものか、イメージがつきにくい。	A	ご意見については、未病の改善に関連する具体的な商品やサービスなどを提供する産業として定義しており、用語説明にその旨を記載しております。
19	5	健康や病気に関して指標というか目安は、今でも、ネットとかでも検索すると様々にあるし、これからも民間から様々なものが出てくる。個々人はそれぞれを選んで自分の健康状態を判断していると思うので、それに加えて、県が作る未病指標というものが健康増進に本当に必要なのか。	E	ご意見については、健康に無関心な人も含め、一人ひとりの行動変容を促進するために、科学的エビデンスに基づいた指標の構築が必要であると考えています。 特に生活習慣病については、市町村行政や県民生活にインパクトが大きく行動変容による効果が現れやすいことから、県がリーダーシップを取り、市町村や大学等と連携して、メタボリック指標の構築に取組み、健康寿命延伸を目指してまいります。
20	5	健康増進課にてミビョーネミビョーナのロゴを使用させていただいています。企業が使えるロゴがあると、認知度が良いです。	B	未病の概念普及を目的とした商標「ME-BYO」の使用許諾制度があり、申請手続きを経ることにより「ME-BYO」を企業の広報媒体等に御使用いただくことが可能です。
21	5	企業、研究機関、大学などと、地域住民向け薬局の健康講座のための講師のマッチング機能があると、最新の治療方針などに地域住民が触れることが出来ます。地域住民の意識向上につながれると考えます。どうぞご検討下さい。	C	薬局が地域住民向けに行う健康情報の発信は、健康サポート薬局の機能のひとつとなっております。個別の取組みのためプランには記載しませんが、今後の取組みの参考とさせていただきます。
22	5	今、日本の医療費は40兆円を超えています。対症療法などを行って治癒させても生活習慣・食習慣の指導を適切に出来ていないため、また病院通いが続く患者さんがほとんどです。病気を発症させない未病は生活習慣、食習慣を見直すことで7割の方が健康になります。現在はエビデンスが欠如している健康食品が氾濫し人々に混乱を招いています。ヒトは水と7大栄養素からできています。これらを適切に摂取することで不健康な生活習慣が改善され、メタボリックシンドローム、生活習慣病、生活機能低下を予防できます。平均寿命が延びるということは寝たきりが増えることに過ぎません。健康寿命を健康に生きることが課題と思います。私は長く勤めた病院を辞め、栄養の大切さを地域の人々にお伝えしサポートすることが必要と考え、現在の仕事に就いた次第です。今回の戦略においても的確に栄養の大切さを伝えることは必須と考えます。	B	ご意見の健康運動リテラシーの向上については、未病（ME-BYO）の取組みの中で、「食・運動・社会参加」を中心とした未病改善に主体的に取組みめるよう、住民に身近な市町村と連携しライフステージに応じた未病対策や未病改善の環境づくりに取組む方向性を記載しています。 栄養の大切さを伝えるといった県政の幅広い分野の取組みについては、プランには記載しませんが、その趣旨で取り組んでまいります。

延べ件数	意見内容区分	意見の概要	反映区分	県の考え方
23	2	2025年 主要目標 3 「未病産業」という言葉は承知しておりますが、主に神奈川県のみで使われているため、その定義（産業分類上）が曖昧な気がいたします。人によっては幅広く捉えており、目標の前提にするには範囲を明示してはいかがでしょうか。	C	ご意見については、本県では、未病の改善に関連する具体的な商品やサービスなどを提供する産業を未病産業と定義しており、効能表示が可能な保健機能食品や、運動機器・サービス、健康データ解析等幅広い分野を対象と捉えており、参考とさせていただきます。
24	2	県内市場規模を測るのは容易ではなく、県内の研究所で開発された未病関連商品を、例えば九州やアジア地域に展開した場合は県内市場規模に含めるのでしょうか。検証が非常に難しいのではないのでしょうか。特にこの市場規模目標は企業活動に大きく左右されるものであり、行政が企業側に県内市場での消費・流通を依頼してできるものではなく、設定自体が困難かと思えます。	E	ご意見については、「県内市場規模」を県内における生産等及び消費と捉えており、節目の年に人口の動向や国等における類似の調査や統計を活用して、市場規模を推計することを予定しています。
25	5	具体的な取組み（5）マイ NE-BYO カルテの利用者数ですが、このヘルスケア関連の見える化デバイスについては、民間のアプリなどがこぞって参入しており、かつ様々なものと繋がって高度化しています。使用に関するインセンティブ（〇〇が当たる、ポイントがたまるなど）も競争が激しい世界です。そんな中で、行政の作成する同カルテを積極利用するモチベーションがどこにあるか、それを具体的に示さないと100万人という数字は極めて高いハードルではないのでしょうか。	E	「マイME-BYOカルテ」は、日々の健康情報だけでなく、母子手帳の記録や健診結果、お薬情報など様々な種類の健康情報を一元的に集め、生涯にわたる健康情報（ライフログ）として管理し、未病改善に役立てることができるツールです。さらに、記録された健康情報は、災害対応や避難所運営など、県民の方々の安全・安心につながる施策に活用することとしています。ご意見につきましては、県民の方々の利用（登録）メリットを、上記の内容に基づき具体的にお示しするなど、県民向けの広報を行う際の参考とさせていただきます。
26	7	資産運用という言葉はあるが、これからは、健康を個々人の資産と捉え、それを運用していく、つまり「健康を運用していく」というキャッチコピーがみんなに受け入れられるのではないか。	C	ご意見については、普及啓発に向けた具体的なキャッチフレーズの提案であるため、今後の取組みの参考とさせていただきます。
27	2	主要目標⑥で、認知症、メンタルヘルス・ストレスなど、対象者を表すデータがないことから、現時点で、早期発見を促進する商品・サービスの利用者数を目標にしたということは、合理的。	E	ご意見については、現時点で認知症等の領域については、早期発見を促進する商品やサービスの利用拡大に取り組んでまいります。
28	3	未病指標のように数値化することは、次の行動に繋げるための最初のステップとして、有効である。	E	ご意見については、個人の行動変容の促進に向け未病指標の構築を進めてまいります。
29	5	未病という言葉が、普段の生活の中で一般的に聞かれないので、未病の認知度80%という中間目標は高すぎると思われる。	E	ご意見については、高い目標を敢えて掲げているところですが、目標の実現に向けて施策を進めてまいります。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
30	5	革新的医薬品、再生医療等製品、最先端医療機器の薬事申請・届出についても、案件一つ一つが複数年以上かかるものなので、3年後に15件という目標は高いと思われる。	E	ご意見については、高い目標を敢えて掲げているところですが、目標の実現に向けて施策を進めてまいります。
31	5	県が取り組む健康経営については、ある程度の規模以上の事業所は既に従業員の健康データの管理を何らかの形で行っているのので、企業にとって、マイME-BYOカルテ利用のメリット感が薄いので、20~30名程度までの事業所をターゲットとすべきである。	C	「マイME-BYOカルテ」は、企業の規模に関わらず様々な活用が可能です。 ご意見については、例えば、小規模な企業に対しては、企業の健康経営をサポートするツールとして役立つことを、一定規模以上の企業に対しては、退職後も見据えた、従業員やその家族の生涯を通じた健康管理ツールとして役立つことを、それぞれ利用メリットとしてお示しするなど、企業を通じた広報を行う際の参考とさせていただきます。
32	5	健康経営に関しては、日本健康会議が健康優良法人認定制度を設けていて、具体的に取組み項目を定め非常に分かりやすい。ヘルスケア・ニューフロンティア戦略（仮称）素案のCHO構想推進事業所登録より、企業にとっては取組みやすいと思います。こうした、既存の取組みとの連携が効率的ではないか。今ひとつ、CHO構想推進事業所の概念が分かりにくい。	C	CHO構想推進事業所では、具体的な取組み項目を定めず、それぞれの企業の抱える健康課題に沿った健康づくりに自由に取り組んでいただく仕組みとすることで、健康経営の実践に取り組みやすい制度としています。 また、全国健康保険協会神奈川支部、健康保険組合連合会神奈川県連合会の「かながわ健康企業宣言」の取組みと連携しており、CHO構想推進事業所への登録は、「健康優良企業」認定を受ける際の評価項目の1つとして加点要素となります。 ご意見については、CHO構想推進事業所の推進にあたっては、健康経営のきっかけとしていただく制度であることを企業にお伝えするなど、今後の取組みの参考とさせていただきます。
33	7	全体的にローマ字の表記が多くて、頭の中で日本語に翻訳するような感じですが。もう少し、分かりやすい日本語表記が必要と思います。	A	ご意見については、本文もしくは用語欄の記載に反映しました。
34	7	「未病（ME-BYO）」という言葉について、「未病（ミビョウ）」をローマ字読みで「ME-BYO」と読ませ、国内にとどまらず、世界に発信しているところに、思いが込められていると思います。「ME-BYO」は既に世界の共通語として知っているのが当たり前のように読めるのですが...。なぜ「-」を付けて「ME-」としているのか、思いや意味があれば、その趣旨をどこかに入れた方が一般には分かりやすいのではないのでしょうか。	A	ご意見については、海外に広くアピールするために、「ME-BYO」という言葉を用いていることを用語説明に追加いたしました。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
35	6	<p>素案本体の30ページに従業員の診断結果を「見える化」とあるが、個人情報保護には十分注意が必要に感じます。</p>		<p>「マイMEーBYOカルテ」の利用にあたっては、必ず本人の同意を得たうえで自ら健康情報を登録いただいております。記録された個人情報は、個人情報保護条例等に従い、適切に管理し、目的外の利用はしません。また、災害時を除き、ご本人や許可されたご家族以外が、同意なくご自身の健康情報を閲覧することはありません。</p> <p>B 企業における従業員の健診結果の「見える化」は、企業としての健康課題を把握していただくため、従業員の健診結果を企業単位で集計した結果を提供するものであり、個人別の情報そのものを提供するものではありません。</p> <p>ご意見につきましては、「マイMEーBYOカルテ」の普及にあたり、引き続き個人情報の保護に十分配慮しながら企業に活用を呼びかけてまいります。</p>
36	5	<p>生活習慣病を軸に「未病」改善に対する取組みとして、未病指標や継続的取組みに対するインセンティブ制度案等は非常に有益だが、① 県民に占める『健康無関心層』の割合の算定、並びに② それに訴求する方法論の議論が成されていないとの印象である。</p> <p>健康無関心層は未病から病気のフェーズに移行し何らかの身体的苦痛や不自由さを伴って初めて自らの健康を省みる嫌いがあり、結果的に医療費を圧迫していることは自明、且つ健康無関心層が一般的に全体の7割を占めるとのデータを加味すると、神奈川県民に於いても上記①及び②を勘案すべきこと必至と思慮。</p> <p>では、具体的アクションとしての打開策は如何に？との議論となりますが、これにつきましては先のMEーBYOサミット2017にてシンポジウムのパネリストとして御登壇頂きました、筑波大学久野譜也教授の研究並びに活動が有益かと考える。</p> <p>① につきましては、凡そ7割の方が健康無関心層と想定されます由。</p> <p>② 健康無関心層に訴求する為には『ロコミ』が有益である為、既に神奈川県にて取組みまれている「未病サポーター」に関し『ロコミ』による伝達の要素を併せ持たせ、サポーターにより自身の大切な方（家族や友人・恋人等）への未病コンセプト並びに当該戦略の拡散を促す。</p> <p>③ 『ロコミ』戦略を継続的なものとすべく、インセンティブ制度を再設計する。</p>	C	<p>ご意見については、健康無関心層に対するアプローチは重要な課題であると認識しており、県民向けの広報を行う際の参考とさせていただきます。</p>

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
37	5	<p>「見える化」は、企業の業務改善の基礎的な対策で、「何となく」感じていたことが具体的な数値で示されることで、その限りで明確化し、対応策が可能となります。未病の数値化は大切なポイントだと思いますが、健康に関するその他の事象についても、積極的に数値化を進めるべきであろうと考えます。</p> <p>その一例として、レストラン等でのメニューにカロリーを表示することを推奨し、またそのために支援策を設定されては如何でしょうか。メタボ対策として、摂取カロリーに関心を持ってもらうことは有効な策の1つだと考えます。素材や加工食品ではカロリー表示が一般的となっています。しかし、自宅では家人がカロリーに配慮している方々も、外食となると、カロリーを気にせず召し上がる方も少なくないと考えます。チェーン店や企業内の食堂では既にかなりカロリー表示が普及しているようですが、一般的なレストランでは余りみかけません。ご検討ください。</p>	C	<p>ご意見については、生活習慣の改善など、行動変容を促していくためには、未病の見える化を図ることや、行動を変えやすいしかけ・環境づくりをすすめていく必要があると考えていますので、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>
38	6	<p>ヘルスケア・ニューフロンティア戦略に関しても、県独自の政策であることはすばらしいのですが、他の都道府県も同じ政策課題を抱えているわけですから、互いに施策やその結果についての経験を交換しあい、「良いものは外部のものであっても導入する」ほうが効率的であるし、より早く目標に到達できると考えます。すでに県内の基礎自治体とは意見交換等はなされておられると思いますが、同じ悩みを抱えるより広範囲な都道府県とも積極的に協力関係を構築されたいかがでしょうか。</p>	C	<p>ご意見については、他の都道府県とも十分に連携、協力し、来たるべき超高齢社会を乗り越えていくことが重要であることから、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
39	5	<p>ヘルスケア・ニューフロンティア戦略でも、企業に大きな期待が寄せられていますが、積極的な企業を支援するために県が独自でファンドを組成するとのことで、これはこれで結構だと考えます。しかし、リスクマネーの供給に特化したベンチャーキャピタルの経験では、成功率はかなり低く、少額のファンドではファンド自体の経営が困難になることも予想されます。言い換えると、かなり大きなファンドで、多くのプロジェクトに投資しないと、継続的なファンド経営は難しい、と考えられています。県の出資額は少額、とうかがっていますが、それでも貴重な県民の資産であり、出来るだけロスは避けたいところです。日本でも、ベンチャーキャピタルはかなり存在し、それなりの経験を蓄積し成長してきましたので、独自のファンドだけでなく、既存のファンドとの協力関係も構築されたら如何でしょう。また、県内の金融機関もリスクマネーの供給は金融庁等から要請されているはずですので、ファンド以外のリスクマネーの供給についても知恵を出して頂けるのではと考えます。</p>	C	<p>今後組成する予定の県主導ファンドについて、ファンドパフォーマンスを最大化するためには、ご指摘いただきましたように、既存ファンドとの連携など、投資全体の規模の拡大は重要であると考えておりますので、本ファンドの運営者である(株)キャピタルメディカベンチャーズと連携して、既存ファンドの運営者とも積極的に意見交換を行ってまいります。ご意見については、今後も引き続き、本ファンドに関係する機関と広く連携し、可能な限り外部のリソースも活用しながら、効率的かつ継続的にリスクマネーが供給される手法を検討するなど、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>
40	5	<p>6つの柱の取り組みのうち (3) 次世代ヘルスケア社会システムでは、「県民の主体的な未病改善を後押しするため、特別な負担感を感じる ことなく、普段の生活の中で取り組むことができるよう、個人の選択と行動を行政や企業等が支える仕組みづくりを進めます。」とあるので、その仕組みづくりの中に農業分野も含めるのはどうかという提案になります。「食べる」といった面だけでなく、「農作業」という面も健康づくりのために活かせるためです。日頃から運動を取り入れることは大事であり、ウォーキングやサイクリングなどと並べ、選択肢の一つとして農作業を県としても推進 していくのはいかがでしょうか。</p> <p>参考：「ピンピンコロリ」農業者は長寿で元気 国内初「農業者の後期高齢者医療費は非農業者の 7 割」を証明 https://www.waseda.jp/top/news/topic/52003</p>	C	<p>ご意見については、未病（ME-BYO）の取組みの中で、「食・運動・社会参加」を中心とした未病改善に主体的に取り組めるよう、住民に身近な市町村と連携しライフステージに応じた未病対策や未病改善の環境づくりに取組みむ方向性を記載しています。農作業の推進についても、そうした取組みの1つとして考えており、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
41	5	未病事業や研究のデータ基盤である、健康ビッグデータを活用することをもっと打ち出されるといいと思います。具体的には、神奈川県の高い、神奈川県がん登録（全国トップクラスの歴史と規模）やゲノムコホート研究のデータ（みらい未病コホート研究としてがんセンターで県西部で実施）を是非有効活用下さい。	B	健康ビッグデータの活用については、21ページ中に「・殿町に集積するライフサイエンス関連の企業や研究機関を中心に、川崎市・国等と連携して、他地域との連携による研究プロジェクトの創出、産業化を見据えた研究開発の拠点形成等を促進することにより、全県的なイノベーション創出機能を高め、さらなる産業集積を図る。 ・上記取組みを効果的に展開するため、最先端医療、AI、IOHH、ロボット技術、ビッグデータ等の積極的な活用を図る。」と記載しております。 がん登録に関するデータについては、既にごん対策の推進にあたって活用していますが、今後もより活用を図ってまいります。
42	4	政府の健康・医療戦略の大綱に未病の考え方が盛り込まれたことが好例ですが、本ヘルスケア分野は一企業の努力だけでは達成できないことが多く、神奈川県の国への影響力の大きさは民間企業にとっても大変魅力的です。ぜひがんばってこの戦略を具現化してください。	E	ご意見については、すべての世代が元気で自立したライフスタイルを実践し、100歳になっても健康で生きがいと笑顔あふれる健康長寿社会(スマイル100歳社会)を実現するため、引き続きプランの具現化に取り組んでまいります。
43	5	キングフロントの成功をお願いします。	E	ご意見については、まちづくりを主導する川崎市と緊密に連携し、活性化を推進するとともに、県が同地域に公民共同で整備した再生・細胞医療の産業化拠点ライフイノベーションセンターにおける企業等の集積を活用した事業展開を加速していくなど、取組みをしっかりと進めてまいります。
44	7	医療情報の翻訳等サポートいただけるしくみを構築いただけませんか？患者会活動での場所やボランティアスタッフ募集等も相談できる窓口があると助かります。また活動として、医療現場等見学会を広く情報提供してもらいたいです。	C	ご意見については、県政の幅広い分野の取組みであり、プランには記載しませんが、今後の取組みの参考とさせていただきます。
45	5	神奈川県が、いま取り組んでいることを知り、驚いています。もっと県民に知らしめるように取り組んでください。神奈川県のほかの地域でも戦略特区を進めてほしい。	A	ご意見については、ヘルスケア・ニューフロンティアの取組みを、県民の皆様によりわかりやすく伝えるためにこのたびプランを策定することとしました。引き続き、周知に努めてまいります。また、県全域が国家戦略特区に指定されておりますので、引き続き特区を活用した取組みを進めてまいります。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
46	5	いずれの項目も、教育あって実践可能なものになるのだと思います。子ども世代から食育・知育等が大切。次世代の教育費に力を入れて行ってほしいと思います。	E	ご意見については、子どもの頃から食事のマナーを身につけ、食に対する感謝の気持ちを培い、豊かな心を育む必要があると考えており、子どもの未病を改善するための取組み等について、引き続き、しっかりと取り組んでまいります。
47	1	県知事に実行力があり、今後に期待が持てます。	E	ご意見については、すべての世代が元気で自立したライフスタイルを実践し、100歳になっても健康で生きがいと笑顔あふれる健康長寿社会(スマイル100歳社会)を実現するため、引き続きプランの具現化に取り組んでまいります。
48	5	「テクノロジーの進化」について、新たな視点としての「人」「社会」の成熟に関するものが重要であるが、HALはその象徴ともいえる。県でもその推進をお願いしたい。	A	ご意見については、「3つの戦術と6つの柱」中、技術革新という形で、また、6つの柱の取組みの1つとして「最先端医療・最新技術」中、ロボット技術の積極的な活用という形で記載しております。ロボットスーツHAL等をはじめとする最先端のロボット技術の実用化に向け、今後も取組みを推進してまいります。
49	5	特区としての行政の強固な壁を突破してください。	A	ご意見については、次世代ヘルスケア社会システムの創出に向けた取組みの中で、国家戦略特区等の活用という形で記載しております。引き続き岩盤規制の突破を進めてまいります。
50	5	本戦略のアウトプットのイメージを具体的に提示お願いします。	A	ご意見については、「第4章 具体的な取組み」の中で、すべての世代が元気で自立したライフスタイルを実践し、100歳になっても健康で生きがいと笑顔あふれる健康長寿社会(スマイル100歳社会)を実現するため、未病(ME-BYO)等6つの柱の取組みの中間目標(2020年)を記載させていただいております。
51	5	未病の段階で病院・医院が病気(難病)を気づかない場合がとても多く、すべての医師への広報をぜひ徹底していただきたい。	C	ご意見については、県政の幅広い分野の取組みであり、プランには記載しませんが、今後の取組みの参考とさせていただきます。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
52	5	未病アプリ、やってみます。	E	「マイME-BYOカルテ」のご利用ありがとうございます。今後も、県民の皆さんが、主体的に健康管理・未病改善に取り組んでいただけるよう、「マイME-BYOカルテ」の普及に努めてまいります。
53	2	ME-BYOの考え方、共感できます！	E	ご意見に対しては、全ての世代の方々が「未病（ME-BYO）」を自分のこととして考え、行動していくよう、ライフステージに応じた未病対策や未病改善の環境づくりなどを進めてまいります。
54	5	人生100年時代に向け、技術・制度の発展について、神奈川県がリードしていることを頼もしく思いました。マイME-BYOカルテによる情報収集については、センシティブな個人情報になると思います。サイバー攻撃への対応等一層強調してあるとよいです。	B	「マイME-BYOカルテ」に記録された個人情報は、個人情報保護条例等に従い、適切に管理し、目的外の利用はしません。また、災害時を除き、ご本人や許可されたご家族以外が、同意なくご自身の健康情報を閲覧することはありません。さらに、法令や国等が定めるガイドラインを遵守するとともに、アクセスログの監視や暗号化通信などにより、情報漏えい等に対する十分なセキュリティ対策を行っています。
55	5	“ 全県特区 ” のアイデアには気概を感じます。	E	ご意見については、次世代ヘルスケア社会システムの創出に向けた取組みの中で、国家戦略特区等の活用という形で記載しております。引き続き岩盤規制の突破を進めてまいります。
56	1	知事が率先してこのような取り組みをしてくださっていること、素晴らしいと思います。日本をリードする県として国をも動かす、さらなる発展をお願いします。	E	ご意見については、引き続きプランの具現化に取り組み、神奈川県発の地方創生に向けた先導的な地域活性化の取組みとして、国の動きをリードしてまいります。
57	5	特区を活用して国の規制を突破して欲しい。	E	ご意見については、次世代ヘルスケア社会システムの創出に向けた取組みの中で、国家戦略特区等の活用という形で記載しております。引き続き岩盤規制の突破を進めてまいります。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
58	5	介護施設だけでなく、介護事業所でも腰用ハルが実用化されること、切にお願いします。	A	ご意見については、「3つの戦術と6つの柱」中、技術革新という形で、また、6つの柱の取組みの1つとして「最先端医療・最新技術」中、ロボット技術の積極的な活用という形で記載しております。ロボットスーツHAL等をはじめとする最先端のロボット技術の実用化に向け、今後も取組みを推進してまいります。
59	5	倫理や制度設計の研究にもお金をかけてほしい。人文科学や社会科学の専門家も企画に入れてはどうか。	C	ご意見については、推進体制にかかることであり、プランには位置づけませんが、取組みに応じて専門家の意見等を伺いながら進めており、今後の取組みの参考とさせていただきます。
60	5	今後のロードマップについて、もう少し説明があっても良かったと思います。	C	現時点でお示しできるものについて2020年度まで記載しておりますが、ご意見については今後の取組みの参考とさせていただきます。
61	5	難病への保健医療福祉政策が障害者総合支援法の枠組みで取り組めるようになったのに、障害保健福祉に携わる行政関係者の最新テクノロジーに対する興味関心が少々低いのではなかという印象があります。この点についても神奈川県が特区として取り組むのはいかがでしょうか。多分野連携による積極的・先進的取組みに感銘いたしました。	C	ご意見については、特区を活用した具体的な取組みの提案のため、プランには位置づけませんが、今後の取組みの参考とさせていただきます。
62	1	進めるべきだと思いました。	E	ご意見については、すべての世代が元気で自立したライフスタイルを実践し、100歳になっても健康で生きがいと笑顔あふれる健康長寿社会(スマイル100歳社会)を実現するため、引き続きプランの具現化に取り組んでまいります。
63	5	薬剤師として漢方の未病の考え方はとても重要と感じています。また、現在は、薬の開発に関係する会社であり、ヘルスケア全体を向上させることに尽力しているので、今後行政としてすすめていくことに、大変関心があります。高齢者も生産性のある生活、自給自足などができる社会づくりが重要と思います。	E	ご意見については、企業やアカデミア、専門家、行政など多様な主体が連携して、全ての世代が元気で自立したライフスタイルを実践し、100歳になっても健康で生きがいと笑顔あふれる健康長寿社会(スマイル100歳社会)を目指してまいります。
64	1	大変明快でとてもよかったです。	E	ご意見については、すべての世代が元気で自立したライフスタイルを実践し、100歳になっても健康で生きがいと笑顔あふれる健康長寿社会(スマイル100歳社会)を実現するため、引き続きプランの具現化に取り組んでまいります。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
65	2	未病自体が新たな社会システムだと感じています。神奈川県がモデル地域となり、未病社会を作ってください。	E	ご意見については、本県は圧倒的なスピードで高齢化が進んでいる課題先進県であり、未病コンセプトに基づく超高齢社会を乗り越えるモデルを産学公が連携して構築していくなど、引き続きプランの具現化に取り組んでまいります。
66	5	自宅でHALが使えるようにお願いします。	C	ご意見については、具体的な取組みの提案であり、プランには位置づけませんが、今後の取組みの参考とさせていただきます。
67	1	規制のカベを強力に取り除く熱意は知事次第との思いを強くした。患者は、一日千秋の思いでいます。よろしくお願いします。	E	ご意見については、次世代ヘルスケア社会システムの創出に向けた取組みの中で、国家戦略特区等の活用という形で記載しております。引き続き岩盤規制の突破を進めてまいります。
68	5	未病については、人間ドック、脳ドック、利用促進への補助、国際展開については、現地情報のリアルタイム入手、現地見学会ついて、全般としては病気にならない体作りの普及、出産率向上対策について期待しております。	E	ご意見については、個別の取組みでありプランには位置づけませんが、未病の改善については、全ての世代の方々が「未病」を自分のこととして考え行動していくよう、子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた未病対策に取り組めます。その中で、女性の未病対策として、年齢により変化する女性ホルモンの影響を受ける女性が、生涯を通じて健康を保持増進できるよう、普及啓発を行っております。また、国際展開については、未病産業等の海外展開に向けて、ホームページやセミナー等を通じた現地情報の提供や、現地視察を含むマッチング等を実施してまいります。
69	5	様々な情報のデジタル化は活用の可能性と共に悪用の危険を有している。本人の不利益とならないような活用をどう保障していくのか。ICTのかけ声できれい事を並べているが、県民、市民の生活基盤が失われている現状にどう対処するのか。	E	ご意見については、「マイME-BYOカルテ」に記録された個人情報、個人情報保護条例等に従い、適切に管理し、目的外の利用はしません。また、災害時を除き、ご本人や許可されたご家族以外が、同意なくご自身の健康情報を閲覧することはありません。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
70	5	「マイMEーBYOカルテ」をまったく知りませんでした。お薬手帳の機能も有しているということで、とても有用なものだと思います。PR方法を見直されてはいかがでしょうか。ぜひ使用したいです。	A	<p>「マイMEーBYOカルテ」の広報普及にあたっては、県や市町村の施設・イベント、薬局等での広報リーフレットの配布や、県広報誌やタウン誌への掲載、インターネット広告、TwitterなどのSNSを活用した広報など、幅広く行っています。</p> <p>さらに、人気アプリ「ポケモンGO」とコラボしたウォーキングマップの配布や、県内プロスポーツチームと連携したキャンペーンなども行ったところ です。</p> <p>ご意見につきましては個別の取組みにおける手法であり、プランには位置付けませんが、「マイMEーBYOカルテ」を多くの方に知って利用いただけるよう、ご意見を参考に、より効果的な広報活動を行うよう努めてまいります。</p>
71	5	再生医療、ロボット以外は見ておられないのでしょうか。	A	<p>ご意見について、本県では、超高齢社会を乗り越えるため、ヘルスケア・ニューフロンティアにおいて「未病の改善」と「最先端医療・最新技術の追求」という2つのアプローチによる施策を展開しております。</p> <p>再生医療及びロボットの普及促進等のほか、「最先端医療・最新技術の追求」として最先端医療機器の開発支援やファンドの活用による産業集積など様々な取組みを行うとともに、未病等の取組みも併せて横断的に行うことで、県民の健康寿命の延伸に取り組んでまいります。</p>
72	5	未病について、実証実験における健康効果の発表	A	<p>ご意見については、未病関連商品・サービスやこれらを活用した社会システムの有効性を検証する「神奈川MEーBYOリビングラボ」の取組みの中で、民産官学連携で推進してまいります。</p>
73	5	自己免疫疾患など不幸な病や遺伝子の病気が治せるよう研究を進めてほしい。	A	<p>ご意見については、企業やアカデミア等が行う研究を促進する施策を進め、県民の方へ早期に治療として提供できる環境を整備していきたいと考えております。</p>
74	5	再生・細胞医療のバリューチェーンの具体的な成果など、今後も紹介してほしい。	A	<p>ご意見をいただいた具体的な成果について、各種イベント、県ホームページや県作成のリーフレット等で積極的に紹介してまいります。</p>

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
75	5	未病という新しい概念による市場の可能性を感じる。	E	ご意見については、超高齢社会を乗り越えるためには、未病の改善に関連する具体的な商品やサービスなどを提供する「未病産業」を創出、拡大し、県民一人ひとりの未病改善の取組みを後押しすることが必要であり、未病産業研究会を中心に、地域の健康課題の解決に向け産学公の連携を進めることで、健康寿命の延伸を目指してまいります。
76	5	本戦略実現のゴールを2025年としているが、それに向けての足掛かりとする中間目標（2020年）をまず設定し、取組むというアプローチには合理性があると思われる。	E	ご意見については、すべての世代が元気で自立したライフスタイルを実践し、100歳になっても健康で生きがいと笑顔あふれる健康長寿社会（スマイル100歳社会）を実現するため、2025年を見据えた上で、2020年までの当面の3年間について取組みを具体化したものであり、引き続きプランの具現化に取り組んでまいります。
77	2	戦略全般について、ヘルスケア・ニューフロンティア戦略の根幹は、“イノベーションの力で超高齢化社会の課題を解決する”ことにあると考えているところである。このため、県内に最先端医療、ロボット技術等に関わる産業の創出、集積を呼び込み、地域経済の深化、発展につなげるということは、県内の経済界、産業界としては期待し、共感するところが大きい。また、未病の改善に向けた取組みについても、県民の意識、ライフスタイルを健康、生きがいを重視する方向に近づけることで、政策の流れとして正しい方向にあると考える。	E	ご意見については、すべての世代が元気で自立したライフスタイルを実践し、100歳になっても健康で生きがいと笑顔あふれる健康長寿社会（スマイル100歳社会）を実現するため、引き続きプランの具現化に取り組んでまいります。
78	6	一方全体構成として、本戦略素案では、2025年での「スマイル100歳社会」の実現を目標に置き、県の主な施策（3つに戦術、6つの柱）と連携する形で、各主体に対して取組みの強化を求める内容を示している。その内容で気になるのは、各主体のうち、“個人”に課する役割、行動目標についてその実現がどれほど担保できるのかという見込みである。たとえば、素案本文P16の“（1）未病 ◎取組みの方向性”には、「県民一人ひとりが「食、運動、社会参加」を中心とした未病改善に主体的に取り組めるよう～（施策等）を推進する」と書かれているが、個々人の意識やその生活環境等も多様化しているなかで、どのような取組み、達成される状況を目標に置いているのかが明確ではないように思われる。	A	ご意見について、未病改善は、「食・運動・社会参加」を中心とした生活習慣改善を進めることで、心身の状態をより健康な状態に近づけることです。個人の意識や生活環境等が多様化するなかで、それぞれの状況に応じて一人ひとりが全体的に未病改善に取り組むことが重要です。なお、32ページに具体的施策として、未病指標や未病センターの活用促進などの取組みを記載し、健康寿命の延伸に重要な生活習慣病などの重点領域で実現されるイノベーションとして、11ページに将来像を記載しています。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
79	2	<p>“ 県民のメリット” “ 重点領域” がヘルスケア・ニューフロンティア戦略素案のなかで、どのような位置づけ、繋がりにあるのかがわかりづらい。（無責任な提案で申し訳ないが、本戦略はむしろ“ 「スマイル100歳社会」実現戦略” とするほうがおさまりがよいのではないか。そうでなければ、用語の定義、使分け、整理等が必要ではないか）</p>	A	<p>ご意見については、「県民のメリット」は、「スマイル100歳社会」が実現した際の県民の暮らしの具体的な姿を示しているものです。また、「重点領域」は、県民にとって身近な健康課題であり、自分のこととして捉えることができるよう、生活習慣病等の4つの重点領域を設け、取組みを進めるものです。「第4章 具体的な取組み」において、4つの重点領域でのイノベーションの創出に向けて、6つの柱で取り組むこと等について記載しました。</p> <p>なお、このプランは、ヘルスケア・ニューフロンティア政策をわかりやすく伝えることが目的であることから、「スマイル100歳社会」の実現に向けて「ヘルスケア・ニューフロンティア推進プラン」と名称を改めました。</p>
80	5	<p>未病に対する情報提供を継続してお願いします。正しい情報か疑わしい情報かの取捨選択が難しい。</p>	E	<p>ご意見については、今後も啓発イベントの開催や、県ホームページ等により「未病の改善」に関する情報提供を継続して行ってまいります。</p>
81	5	<p>オーラルフレイルに着目してプロジェクトを進めていくことは、すばらしく、結果も期待できると思っています。第一歩の健診に口腔内検診を入れていただきたいと願っています。</p>	B	<p>ご意見については、具体的な取組みの提案であるため、プランには記載しませんが、オーラルフレイル対策や、歯科検診を定期的に受診していただくことは、重要であると考えており、歯及び口腔の健康づくり推進条例に、新たに盛り込み推進してまいります。</p>
82	7	<p>家庭のしつけや、社会のルールをどこで知るか、が大事。</p>	C	<p>ご意見については、県政の幅広い分野の取組みであり、プランには記載しませんが、今後の参考とさせていただきます。</p>
83	5	<p>見える化（数値化）は大切なことですが、もっと大切なことは個人のライフスタイルに対する考え方、コミュニティの共感を上げる運動のあり方など、ソフトウェア（考え方）を変えていくことが大切であろうと思います。</p> <p>ヘルスケア産業の育成が前面に出ていますが、本来は個人あるいはコミュニティの姿（ライフスタイルの将来像）があり、それを達成するため産業であろうと考えます。</p>	A	<p>ご意見については、ヘルスケア・ニューフロンティアは、未病コンセプトを基軸に据えており、「第2章 未病コンセプト」でその趣旨を記載しております。未病産業は、未病を改善するという個人の行動変容をサポートするための商品やサービスを提供する産業です。</p>

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
84	5	<p>日常的に高齢者が集い、会話し、趣味を楽しめる場所を居住地近くに作ってほしい。（地域ケアプラザ以外の場所にも）</p> <p>県の「未病」への取組みが、横浜各区の福祉担当者から区内の人達にあまり伝わっていない。区のヘルスマイトをしているが、まだまだその仲間や一般の区民の皆に伝わっていない。（もっと講座や講習を！）</p>	B	<p>ご意見の「日常的に高齢者が集い、会話し、趣味を楽しめる場所」については、実施主体は市町村であるため、プランには記載していませんが、介護保険の地域支援事業に「住民が主体となって運営する通いの場」が位置付けられております。また、「未病の改善」の取組みの普及については、今後も啓発イベントや「未病サポーター養成研修」の開催、ホームページ等により、県民一人ひとりが主体的に取り組んでいけるよう進めてまいります。</p>
85	5	<p>「未病」のキャンペーンを広く、長く実施しているのは大変良いと思います。</p>	E	<p>ご意見に対しては、全ての世代の方々が「未病（ME-BYO）」を自分のこととして考え、行動していくよう、今後も、県民はもとより社会のあらゆる主体が協力しあって、ライフステージに応じた未病改善の取組みを継続して進めてまいります。</p>
86	5	<p>義務教育の中で健康教育の時間を増やすべき。孫が祖父母の健康チェックを喚起することが大切。</p> <p>県行政と市町行政の連携をもっと強化してほしい。</p>	A	<p>ご意見について、県行政と市町村行政との連携については、第5章 各主体に対する取組みの強化中、（5）自治体（市町村）に対する県の取組みの記載のとおり、未病改善行動へのインセンティブ提供等の健康づくり後押しし、一体的に未病改善を推進してまいります。</p> <p>また、健康教育については、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>
87	5	<p>病床についた後の離床をはやめる取組みが大切。</p> <p>老健施設での歯科治療は、フレイル予防に効果が高いと考える。要介護2～3の方の要介護度が進まないようにする対策が必要。</p>	B	<p>ご意見については、具体的な取組みの提案であることから、プランには位置付けませんが、ライフステージに応じた未病対策における介護予防・軽度認知障害対策として、ロコモ・フレイル対策の取組みなどを推進しており、今後も県内のフレイル対策に取り組んでまいります。</p>
88	7	<p>県民主体での運動論になっていくことが大事だと思います。</p>	A	<p>ご意見については、個人の主体的な未病改善を図るため、広報普及の促進に取り組むこととしています。</p>

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
89	5	未病センターを設置している団体ですが、 1)未病センターをもっと市に限らずPRして欲しい 2)フレイルとの関係性をわかり易く図示して欲しい 私どもはフルにこの戦略を活用しております。特に、超高齢化が進む市町村においては有効なツールばかりです。継続性ならびに庁内連携を徹底していただきたいと思えます。	A	ご意見については、第5章 各主体に対する取組みの強化中、 (1)個人に対する県の取組みとして、「食・運動・社会参加」を中心とした未病改善に県民が取り組めるよう、未病センターの活用促進を図ると記載しています。 また、未病センター事業は県民が身近な場所で未病の気づきの機会となる場を提供するため、市町村や企業からの申請に基づき認証する制度であり、フレイル事業は東京大学が取組みを進める虚弱化判断基準であるフレイルチェックプログラムを高年齢者へ幅広く体験機会を提供し普及を図る取組みであります。 フレイル対策は高齢者の未病対策に資する事業であるため、今後も普及に取り組んでまいります。
90	5	戦略中国際展開とあるが、国外から医者と呼んでくるわけではないので、これが私たちの健康寿命の延伸にどうしてつながっているのかわからない。	E	ご意見については、未病産業の海外事業展開等を支援し、また世界の最先端医薬品・医療機器の県内への導入を促進することで、健康寿命の延伸を目指してまいります。
91	5	ICTの活用とは、神奈川の戦略ではマイME-BYOカルテのこととイコールなのでしょうか。情報基盤を神奈川県だけで使うのは非効率ではないでしょうか	A	ご意見について、県では、ヘルスケア・ニューフロンティアの取組みを支える基盤として、ICTを活用した「マイME-BYOカルテ」の取組みを進めています。 「マイME-BYOカルテ」は、県だけでなく、市町村や企業などが、様々な課題解決に活用することができる情報基盤として整備し、提供するものです。 プランにおいて2025年の目指す姿として「『マイME-BYOカルテ』の健康情報を、行政や企業、アカデミア、医療などが個人の同意のもとで共有し」と記載しており、ご意見の趣旨を既に盛り込んでいます。
92	5	主要目標(改定素案4p)で、糖尿病有病者の減少が挙げられているが、歯周病から糖尿病を疑う場合など、歯科からの糖尿病予備軍や糖尿病未治療者の医科歯科連携は保険では評価されていないので、特区の活用などはできないものか。	C	ご意見については具体的な取組みの提案であるため、プランには記載しませんが、今後の参考にさせていただきます。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
93	2	生活機能(改定素案 5p)にフレイルに関する記載があるが、フレイルは近年特に注目されているキーワードであり、今後も特に高齢者に対する生活機能の維持、向上に必須の対策となることは理解している。そこで、フレイルの前段階としての僅かなムセ、食べられない食品の増加、飲み込みつらさなど些細な症状、いわゆるオーラルフレイルの発見と対策がフレイルそのものの発生を防止する事と密接に関連している事が明らかになっているので、フレイル同様に、オーラルフレイル対策についても記載いただきたい。	A	ご意見については、オーラルフレイル対策についても、推進することとしており、18ページの未病(ME-BYO)の取組みにその旨を記載しております。
94	4	認知症(改定素案13ページ)(現状)に「認知症の早期発見を地域包括ケア体制の構築のなかで推進している。」を追加していただきたい。	B	ご意見については、認知症の早期診断・早期対応については、医療・介護の連携のもと、認知症サポート医の養成や、認知症疾患医療センターを中心としたネットワークの充実、市町村が設置する認知症初期集中支援チームの支援などに取り組んでいます。
95	5	未病産業については、すでに世界各国でヘルスケア産業の覇権争いが本格化しており、AI、ITは当然組み込まれている。むしろヘルスケアでは日本は後れをとっている。製造拠点も国内から離れる一方であり、国内の製品出荷の増加は見込めない。国際展開とは何を行うものなのか。	E	ご意見については、海外機関との協力関係を効果的に活用し、未病に関する技術や最先端医療に関する共同研究・開発の促進を図るとともに、未病産業等の海外事業拡大の支援を行うものです。
96	5	大井町は平地だけではなく、山坂もあり景色もよい。そうした地域の特徴を活かして、ウォーキングができるなど健康づくりに取り組んでほしい。ブルックスのところがあれだけ立派な施設があるので早く動いてほしい。	A	ご意見について、大井町におけるウォーキングについては、水辺や里山などを楽しめるコースの紹介などを行っています。また、未病バレー「BIOTOPIA」を核とした「県西地域活性化プロジェクト」の取組みを18ページに記載しており、ブルックスの施設について、今年4月に第1期オープンを迎えます。その内容については、ホームページ等を活用し、情報発信してまいります。
97	5	ブルックスのところが早く使えるとよい。体育館の中など、寒い時期にはウォーキングに使えるようになるなどできればよい。	C	ご意見については、ブルックスの施設について、未病バレー「BIOTOPIA」が今年4月に第1期オープンを迎えます。体育館等の施設はブルックスが運営していることから、ご意見を伝え、今後の取組の参考とします。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
98	5	未病に対して県西では、一般に認知度が低い。県がもっと積極的に動いてほしい。	A	ご意見については、未病バレー「BIOTOPIA」を核とした「県西地域活性化プロジェクト」の取組みを18ページに記載しております。県西地域における未病の取組みとして、県西地域の市町や団体、企業等と連携協力して取り組むなど、未病改善の環境づくりを進めています。また、今年4月にはプロジェクト推進の核となる施設である未病バレー「BIOTOPIA」がオープンを迎えます。その内容については、ホームページ等を活用し情報発信してまいります。
99	5	車の値段を高くして、歩くようにすれば事故も減るし、体も動かすようになるので良いと思う。	E	ご意見については、ヘルスケア・ニューフロンティアへの取組みへ具体的に反映できないことから、プランには記載しません。
100	5	ブルックスで、未病の取組みを県はいろいろやっているが、具体的にどう進んでいるのかわからない。	A	ご意見については、未病バレー「BIOTOPIA」を核とした「県西地域活性化プロジェクト」の取組みを18ページに記載しております。ブルックスの施設における取組みとして、未病バレー「BIOTOPIA」が今年4月に第1期オープンを迎えます。その内容については、ホームページ等を活用し、情報発信してまいります。
101	5	健康診断のときに、役所がもっと一緒に未病の広報をしっかりとやるとよい。	A	ご意見については、県行政と市町村行政との連携については、第5章 各主体に対する取組みの強化中、(5)自治体(市町村)に対する県の取組みの記載のとおり、未病改善行動へのインセンティブ提供等の健康づくり後押しし、一体的に未病改善を推進してまいります。健康診断時に関する広報についても、今度の取組みの参考とさせていただきます。
102	5	歩数計を配布してイベントの実施をしたらどうか。ポイント制などにすればよい。	A	神奈川県のアプリ「マイMEーBYOカルテ」を利用すれば、スマートフォンを持って歩くだけで自動的に歩数を記録し、管理することができます。 また、地元市町村がおススメするスポットを巡る県内約90のコースをクリアした方に、インセンティブとして地域特産品を抽選でプレゼントするウォーキングキャンペーンを実施しています。 ご意見につきましては、今後もより多くの県民の皆様が、マイMEーBYOカルテを活用してウォーキングなど健康増進に取り組めるよう、市町村と連携して検討してまいります。また、ポイントを付与する仕組みについても検討してまいります。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
103	5	認定した場所（未病いやしの里）がどういふふうにか活かされているのかわからない。地域では経済の活性化を期待している。	B	ご意見については、個別の取組みのため、プランには位置づけませんが、未病いやしの里の駅については、連携した回遊促進事業等の実施により地域外からの誘客を図っており、今後も県西地域の活性化に資する事業を実施してまいります。
104	5	そもそもヘルスケア・ニューフロンティアの取組みを知らない。そんな中でも健康でいるために自転車が走りやすい道を整備してほしい。	C	県では、これまで総合計画「かながわグランドデザイン」に「ヘルスケア・ニューフロンティアの推進」を位置づけ、「見える化」する取組みを進めてきました。また、市町村と連携して、健康・産業関連イベントやフォーラムにおいて普及を図っています。なお、ご意見のありました自転車が走りやすい道の整備については、具体的な取組みの提案であるため、プランには記載しませんが、今後の参考とさせていただきます。
105	5	ウォーキングコースなどがあれば日々の健康づくりでもよい。ブルックスでの未病の取組みについて、どういふことをやっているのか情報発信があるとよい。	B	ご意見については、個別の取組みについては、プランには位置づけませんが、次の取組みを既に進めております。神奈川県のアプリ「マイME-BYOカルテ」を活用したウォーキングキャンペーンとして、地元市町村がおススメするスポットを巡る県内約90のコースを、マイME-BYOカルテと連携する民間のウォーキングアプリに掲載しています。また、人気アプリ「ポケモンGO」とコラボしたウォーキングマップを約30種類作成しており、県ホームページに掲載しているほか、市町村施設等で配布しています。このほか、県西地域内で79コースのウォーキングガイドを作成し、情報発信を行っております。また、ブルックスでの未病の取組みについては、未病バレー「BIOTOPIA」が今年4月に第1期オープンを迎えます。その内容については、ホームページ等を活用し、情報発信してまいります。
106	5	社協の役員をやっているが、年を取ると歩くのがおっくうになる。人と話さないと老化が進む。定期的に健康診断を受ける、社会参加する、などが地道な取組みが大事。	A	ご意見については、「未病サポーター」による家族や友人などに向けた未病概念の説明や「未病を改善する」取組みの普及啓発など、地域における活動を通して、社会参加の促進が図れるよう進めていくこととし、18ページの未病（ME-BYO）の取組みにその旨を記載しております。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
107	5	もっと体を動かせるような仕組みがあるとよい。	A	ご意見については、「食・運動・社会参加」を中心とした未病改善に主体的に取り組めるよう、住民に身近な市町村と連携し、ライフステージに応じた未病対策や未病改善の環境づくりに取り組むこととし、18ページの未病（ME-BYO）の取組みにその旨を記載しております。
108	5	皆さんが参加できる歩きやすいウォーキングコースがあれば、もっと皆が体を動かすと思う。	B	神奈川県のアプリ「マイME-BYOカルテ」を活用したウォーキングキャンペーンとして、地元市町村がおススメするスポットを巡る県内約90のコースを、マイME-BYOカルテと連携する民間のウォーキングアプリに掲載しています。ご意見につきましては個別の取組みに対する手法であることからプランには記載しませんが、今後の取組みの参考とさせていただきます。
109	5	横浜市や相模原市では、万歩計を配っている。ポイントがあるとインセンティブになる。大会などがあると頻繁に参加する。県西でもそういう機会があるといい。	B	ご意見については、神奈川県のアプリ「マイME-BYOカルテ」により、スマートフォンを持って歩くだけで自動的に歩数を記録し、管理することができます。また、地元市町村がおススメするスポットを巡る県内約90のコースをクリアした方に、インセンティブとして地域特産品を抽選でプレゼントするウォーキングキャンペーンを実施しています。併せて、県西地域の市町や団体、企業等と連携、協力して「県西地域活性化プロジェクト」として様々な企画に取り組んでおり、引き続き推進してまいります。ご意見につきましては個別の取組みに対する手法であることからプランには位置付けませんが、今後もより多くの県民の皆様が、マイME-BYOカルテを活用してウォーキングなど健康増進に取り組めるよう、市町村と連携して検討してまいります。
110	5	未病について、言葉としては聞いていたが具体的なことがわからなかったのも、もっと知られるような機会があるとよい。	E	ご意見については、今後も、啓発イベントの開催やホームページ・チラシ等により、「未病の改善」について、普及啓発に取り組んでまいります。
111	5	雨が降っても室内で歩くような場所があれば、より歩く機会も増える。	A	ご意見については、未病（ME-BYO）の取組みの中で、「食・運動・社会参加」を中心とした未病改善に主体的に取り組みめるよう、住民に身近な市町村と連携しライフステージに応じた未病対策や未病改善の環境づくりに取り組む方向性を記載しています。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
112	5	一人ではなかなか歩かないので、皆で歩く機会があれば、いろいろな場所を回って体を動かすようになる。	B	ご意見については、県では「神奈川県スポーツ推進条例」及び「神奈川県スポーツ推進計画」を定め、「スポーツ」を競技スポーツだけでなく、ウォーキングなどの軽度の運動も含むものとして、スポーツ振興に取り組んでいます。例えば、「3033運動」（1日30分、週3回、3ヶ月間運動・スポーツをする習慣をつける取組み）を推進する中で、「大また歩き」などのウォーキングも推奨しています。
113	5	未病がわかりにくい。ブルックスは車がないと行きにくい（循環バスが必要）。	E	ご意見について、未病の概要については、県西地域のイベントへの出展等にてご案内しており、引き続き普及啓発に取り組んでまいります。 また、未病バレー「BIOTOPIA」への交通については、整備主体のブルックスに働きかけてまいります。
114	5	体育館で大人と子どもも一緒に運動できれば、より体を動かして健康でいられると思う。	A	ご意見については、未病（ME-BYO）の取組みの中で、「食・運動・社会参加」を中心とした未病改善に主体的に取り組めるよう、住民に身近な市町村と連携しライフステージに応じた未病対策や未病改善の環境づくりに取り組みむ方向性を記載しています。
115	5	なるべく健康のために散歩している。月2回、公園で集まって運動してお茶を飲んでいるが、地域の中でできることがあることが健康のために一番である。	A	ご意見については、「食・運動・社会参加」を中心とした未病改善に主体的に取り組めるよう、住民に身近な市町村と連携し、ライフステージに応じた未病対策や未病改善の環境づくりに取り組むこととし、18ページの未病（ME-BYO）の取組みにその旨を記載しております。
116	5	町民体育祭など、もっと小さなコミュニティ単位でスポーツ大会などがあれば、年配者も参加できて体が動かせて、ずっと現役でいられる。	B	ご意見については、市町村主催のスポーツイベントについてのものと思われますが、県では「神奈川県スポーツ推進条例」及び「神奈川県スポーツ推進計画」を定め、スポーツ振興に取り組んでいます。例えば、県民スポーツ月間（10月）におけるイベントの実施やチャレンジデー（毎年5月の最終水曜日に人口規模がほぼ同じ自治体で、15分以上継続して運動やスポーツを行った住民の参加率を競い合うイベント）の支援を行っています。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
117	5	歩くマップなどがあれば、もっと体を動かす人が増えると思う。そういう仕掛け、仕組みをつくとよい。	B	ご意見については、具体的な取組みの提案であり、プランには記載しませんが、次の取組みを既に進めております。 神奈川県では、人気アプリ「ポケモンGO」とコラボしたウォーキングマップを約30種類作成しており、県ホームページに掲載しているほか、市町村施設等で配布しています。 また、体を動かす仕掛けについては、県西地域内で79コースのウォーキングガイドを作成し、水辺や里山などを楽しめるコースの紹介などを行っています。
118	5	いいものがあるからもっと県西地域の開発、そして温泉を使うなど、やるやると言う事だけでなく、人を集めた方がいい。	A	ご意見については、未病バレー「BIOTOPIA」を核とした「県西地域活性化プロジェクト」の取組みを18ページに記載しており、県西地域の市町や団体、企業等と連携、協力して、引き続き推進してまいります。
119	5	山北ではウォーキングが広がっている。散歩がてら安全でゆっくり歩くことが広がっていければと思う。	B	ご意見については、具体的な取組みの提案であり、プランには記載しませんが、次の取組みを既に進めております。 神奈川県のアプリ「マイMEーBYOカルテ」を利用すれば、スマートフォンを持って歩くだけで自動的に歩数を記録し、管理することができます。 また、山北町を含む、地元市町村がおススメするスポットを巡る県内約90のコースをクリアした方に、地域特産品を抽選でプレゼントするウォーキングキャンペーンを実施しています。 また、県西地域内で79コースのウォーキングガイドを作成し、水辺や里山などを楽しめるコースの紹介などを行っています。
120	5	再生医療等製品を開発するうえでの細胞バンクの構築。今後の再生医療を発展させるためにも商業利用が可能な細胞バンクが必要であるが、民間企業では細胞バンクの構築を行いにくいため、細胞バンクの構築をお願いしたい。	C	ご意見については、細胞バンクの構築に当たり、細胞の保管方法や法整備などの課題があると認識しており、国や企業等との役割分担を含め、今後の取組みの参考とさせていただきます。
121	5	最先端臨床研究の治験を行う場合、多施設で行うことが多いため、県立病院機構や県内大学病院の連携をお願いしたい。さらに、世界中の企業から日本へ導入する際の臨床研究、治験等は、神奈川県から開始できるような体制を構築してもらいたい。	C	ご意見については、県立病院機構等と連携し、県内で最先端医療に係る多施設での臨床研究が行われるための取組みを実施しておりますが、県内から臨床研究、治験が開始できる体制構築については、中長期的な課題であり、今後の取組みの参考とさせていただきます。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
122	7	言葉による医療の重要性が報告されており、様々な取り組みが実施されている。ICT による管理や最先端医療も重要であるが、「言葉」によって生活習慣を改善することで次世代（子供、孫）にもつながる未病を実現したい。	C	ご意見については、生活習慣の改善など、行動変容を促していくためには、未病の見える化を図ることや、行動を変えやすいしかけ・環境づくりをすすめていく必要があると考えていますので、ご意見の趣旨は今後の取組みの参考とさせていただきます。
123	5	神奈川県民への「未病産業研究会」などのイベントなどで研究会員の製品などをアピールや役所内での未病産業関連製品の常設展などの試みはどうか。	C	ご意見については、超高齢社会を乗り越えるためには、未病の改善に関連する具体的な商品やサービスなどを提供する「未病産業」を創出、拡大し、県民一人ひとりの未病改善の取組みを後押しすることが必要であると考えていますので、ご意見の趣旨は今後の取組みの参考とさせていただきます。
124	1	なぜ今なのかについて 黒岩知事が就任されてから「未病」の取り組みがスタートしたと思います。前知事時代にはそうした話はありませんでした。「未病サミット神奈川宣言」を端緒として、とありますが、そもそもそのシンポジウムは神奈川県が開催したものでしょうから、自らしかけておいて「端緒として」というのはおかしいと思います。例えば、これ以上放置すると破たんを止めることができない、といった数字上の裏付けをもって取り組みのスタートを判断した、ということであればわかります。結局、破たんの危惧が具体的に示されていないので、抽象的に何を書き連ねても、その根拠がないままと思います。「未病サミット神奈川宣言」といった政治色のあるスタート地点ではなく、なぜ今なのかを、今一度客観的に示してください。示せないなら、やめてしまっても構わないと思います。今やる理由を示せないのですから。それから、ME-BYOが世界の言葉になったかどうかは問題ではないのではないのでしょうか。それよりも、それを改善することが破たんを防ぐというメカニズムこそが周知されるべきで、それが明示されれば自然とこの言葉は認知されるでしょう。そのように考えますので、なぜ、「最先端医療・最新技術の追求」と「未病改善」が、このまま放置しておくで神奈川県が何年後かに訪れる「破綻」を救う手立てなのか、メカニズムを示してください。	E	ご意見については、少子高齢化が進展し、人口構造が大きく変化する中では、社会保障制度など現行の社会システムを継続させることが困難になりつつあります。社会システムを持続可能なものとするためには、健康でいる時間を長くすることが不可欠です。そこで再生・細胞医療やロボット技術といった「最先端医療・最新技術」によるアプローチと、「食・運動・社会参加」といった「未病改善」によるアプローチの融合により、その実現を図っていく取組みを進めています。併せて、そのプロセスにより、新たな市場・産業を創出し、産業活力の源泉として寄与することが期待されます。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
125	1	<p>「ヘルスケア・ニューフロンティア政策」はこれから始まるのでしょうか？戦略とは、始めるにあたっての基本的な考え方ではないのでしょうか。すでに数年取り組んできており、なぜ今戦略のパブコメなのでしょうか。これまでの政策は戦略なしで実施してきたのですか？これまで進めてきた政策は何を根拠に実施してきたのか、教えてください。</p>	E	<p>ご意見については、ヘルスケア・ニューフロンティア政策は、少子高齢化が進展し、人口構造が大きく変化する中では、現行の社会システムを継続させることが困難になりつつある中、超高齢社会を乗り越えていくために、本県の総合計画「かながわグランドデザイン」も「ヘルスケア・ニューフロンティアの推進」を位置づけ、県の政策として取り組んできたものです。加えて、ヘルスケア・ニューフロンティア政策を県民にわかりやすく伝えるために、具体的にどのような取組みを進めるのか、県民の皆さんとどのように手を携えて進めていくのか、そのために多様な主体の総力をどのように結集して取り組むのかということを整理したものがこのプランであります。その趣旨を「プラン策定のねらい」中で記載しております。</p>
126	1	<p>「世界的な課題となる高齢化の問題に、神奈川が提唱する「未病コンセプト」が重要な処方箋となることが認識されるようになってきました。」とありますが、コンセプトが高齢化の問題の処方箋になる、というのは具体的にどういうことでしょうか？コンセプトはあくまでコンセプトであって、処方箋にはどうやってもなりえないと思います。「未病コンセプトが高齢化の問題の処方箋になる」という文章の意味を詳細に説明してください。</p>	E	<p>ご意見については、本県で進んでいる超高齢社会の進展は、この先世界各国で同様に進んでいくことが見込まれています。そのような中、高齢者になっても、元気で自立した生活を送るために、行政や専門家の支援を受けながら主体的にサービスを選択し、自ら行動変容を起こしていくことにより生活の質を高めていく「未病コンセプト」は、同時に超高齢社会を乗り切る処方箋を示しており、その趣旨を「第2章 未病コンセプト」において記載しております。</p>

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
127	2	<p>「イノベーションの力で超高齢社会を乗り越えていくために、ヘルスケアの分野で先進的な取組みを進める」と「超高齢社会の課題」が解決される、とありますが、高齢社会の課題とは何で、「ヘルスケアの分野での先進的な取組み」とは何で、なぜ解決されるのかお示してください。</p> <p>続く「具体的には」の段落では <1>ライフスタイルを見直す → 高齢になっても自立した生活ができる <2>最先端の技術やサービスの開発が促進される → 医療・生活・就労・産業などが支えられるの二点が「具体化されたもの」として示されていますが、<1>は、高齢になっても自立した生活ができることにより、医療機関への依存度の低下、高齢での就労機会増加、がもたらされ、結果として<2>の結果である医療費の削減と労働力確保につながっていくと考えられます。となると、最先端の技術やサービスの開発が促進されることの結果は具体的には何でしょうか。<1>は、単純に言えば、高齢者が健康になれば社会的負担が減るから、市民が健康を目指すように行政が仕向ける、ということですよね？では、<2>はなぜ必要なのでしょう。市民が健康を目指すようになるには最先端の技術やサービスの開発が必要なのでしょう。ちょっと違う気がしますね。最先端の技術やサービスの開発を進めば、医療の世界では、不治の病を治すことができる、ということであれば、不治の病に苦しんでいる人のための開発促進ですよ？健康を目指すことで病にならない、とは別の柱で、病になった人を救う、という柱なのではないでしょうか？柱の立て方は、無頓着な県民を健康マニアに仕立て、できる限り病気にならないようにする、という側面と、病気になった人を救うという側面の二つなのではないでしょうか。前者の数値的目標は医療費の削減であり、後者の数値的目標は、救える可能性の増大ですよ。となれば、それぞれの現状と未来予測とこの戦略が見据える数値的目標を示すべきではないでしょうか。ぜひ示していただきたいと思います（小学生の太郎君はとかいりません。絵空事でしかない）。という観点から主要目標を見ると、「<1>未病指標の利用者80万人」という目標の立て方は正しくありません。指標を活用するとかしないとかではない（そもそも未病指標とは何か、示されていませんが。）「<2>糖尿病、メタボの減少」という目標の立て方も正しくありません。そもそも、新たな社会システムとは何かを示されていないのでむづかしいですが、健康である人が増えることで医療費削減と労働力確保ができること、だとすれば、医療費削減は、糖尿病とメタボの医療費が下がれば達成できるのでしょうか。県内医療費に占める糖尿病、メタボ関連医療費を示してください。</p>	E	<p>ご意見について、「超高齢社会の課題」とは、社会保障制度など少数の高齢者を多数の現役世代で支えることが前提となっている現行の社会システムを継続させることが困難となることであり、「ヘルスケアの分野での先進的な取組み」とは、プラン中に記載の6つの柱の取組みであり、こうした取組みを通じて、持続可能な新たな社会の仕組みづくりが進められます。</p> <p>また、最先端の技術やサービスの開発の促進については、医療のみならず、未病改善という点でも、その技術は大いに活用されることから、健康寿命の延伸に寄与するものであります。</p> <p>県内医療費に占める糖尿病については、平成27年5月における国民健康保険及び後期高齢者医療制度のみの金額しか把握しておりませんが、約1,101億7千万円のうち、糖尿病が51億4千万円で、約4.7%を占めております。</p> <p>また、メタボ関連医療費としての把握はしていませんが、生活習慣と関連の深い疾病として、高血圧性疾患、虚血性心疾患、脳梗塞、脳内出血、腎不全の医療費は、203億9千万円で、約18.5%を占めており、糖尿病と合せて、約23.2%を占めております。</p>

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
128	1	<p>戦略策定のねらいについて 超高齢社会が到来することは周知の事実ですが、「現行の社会システムを継続させることが困難になりつつあります」という言葉の中身がどこにも示されていません。具体的に、どのしくみが破たんをきたす恐れがあるのでしょうか。教えてください。 県が抱えている危惧を示さないと、その破たんを防ぐために必要な手段が「最先端医療・最新技術の追求」と「未病改善」であるのか否か判断が付きません。大前提ともいえる認識の部分が共有されない限り、戦略なり、政策なり、それにかかる予算なりの正当性根拠の判断が付きません。 それを示さずに意見募集をする意図をはかりかねます。 まずは、破たんの恐れのある（と県が考えている）状況を示してください。</p>	E	<p>ご意見については、社会保障制度などの現行の社会システムであり、その旨を「プラン策定のねらい」中に記載しております。 医療、介護、福祉など現行の社会保障制度は、少数の高齢者を多数の現役世代で支えることが前提となっており、人口構造に大きく影響されます。本県では1970年に25.6万人であった65歳以上の老年人口は、2050年に約295万人と10倍以上となり、また、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年に高齢化が一気に進む(2015年:約98万人→2025年:約150万人)ことから、超高齢社会を乗り越え、持続可能な社会の形成している取組みは不可欠であります。</p>
129	1	<p>なぜ神奈川県が取り組むのかについて 上述の大前提が示されていないので、いろいろ抽象的なことが書いてありますが、なぜなのかがわかりません。全国には、大都市を抱える神奈川県とは異なり、人口減少や高齢化にすでに直面している地域があります。「最先端医療・最新技術の追求」と「未病改善」をしていけば、「直面している地域のようにはない」ということなのでしょう。なぜ、神奈川県が取り組む必要があるのか、詳しく説明してください。</p>	E	<p>ご意見については、916万人の県民の方が暮らし、かつ全国屈指のスピードで高齢化が進むという状況は、他の地域とは状況を異にしています。人口構造が大きく変化する中では、現行の社会システムを継続させることは困難である一方、多くの技術力のある企業等が集積し人材が豊かであること、3つの特区の活用など環境が整っていることから、新たな社会システム作りにフロントランナーとして取り組む意義があります。 その趣旨を「プラン策定のねらい」において記載しております。</p>
130	5	<p>メンタルヘルスの未病対策に取り組んでいます。 セルフコントロールとして、自律訓練法を推奨しています。 人材育成では、交流分析を活用しています。</p>	C	<p>ご意見については、ヘルスケア・ニューフロンティアへの取組みへ具体的に反映できないことから、プランには記載しませんが、今後の取組みの参考とさせていただきます。なお、プランにおいては、メンタルヘルスを県民にとって身近な課題である重点領域の1つに位置付けております。</p>

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
131	5	<p>メタボ、ロコモ、フレイル、認知症、メンタルヘルス・ストレス等の重要性は言うまでもないが、情報を得、安全安心に運動、生活するための目の健康について語られることが国、各自治体を含め少ないことを危惧しています。</p> <p>情報の約80%を目から得ているといわれる中、生活者の健康で気になることで部位別では4位に眼の健康が入っていることから関心の高さがうかがえます。</p> <p>人生100年時代に向け、移動手段含めて行動範囲を拡大し、生活や就業、学習の機会を広げるためにも眼の健康を生活者に意識していただけることが重要と考えております。</p> <p>よって、以下のことを提案いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マイME-BYOカルテへの目の健康状況を記載する欄を設ける。 2. 学童や地域住民のために目の健康について啓発する機会を設ける。 3. 特定健診において医師の必要性判断のもとでしか行われなくなった眼底検査を必須とする。 	C	<p>ご意見については、「マイME-BYOカルテ」では、今後、小学校から高校における、健康診断結果の記録欄を追加する予定ですが、その中に視力検査の結果も含んでおります。</p> <p>成人後の視力や目の状態の記録については、現在のところ、追加予定はありませんが、今後、健康情報の項目追加を検討する場合には、ご意見を参考にいたします。</p> <p>また、その他については、今後の参考とさせていただきます。</p>
132	5	<p>ヘルスイノベーションスクールについては、海外から留学生を入れることも大事だが、日本人を国際化していくような教育も必要である。科目の設置に当たっては、単に語学だけでなく、内容についても国際化とすることを意識して欲しい。</p>	B	<p>ご意見については、現在、研究科の設置に関する国への認可申請の準備中のため、プランには記載しませんが、国際的な人材の輩出を見据えた教育内容とすべく準備を進めております。</p>
133	5	<p>ヘルスイノベーションスクールの教育内容に、海外、特に欧州の制度や政策などとの比較が出来るようなものが必要ではないか。</p>	B	<p>ご意見については、現在、研究科の設置に関する国への認可申請の準備中のため、プランには記載しませんが、優れた海外の制度について学ぶことができる科目についても開講する予定で準備を進めております。</p>
134	5	<p>ヘルスイノベーションスクールの教育内容については、他の公衆衛生の大学院との差別化をしっかりと図っていくべきだろう。例えば、神奈川県が進める「未病」についても教育内容に加えることで、差別化が図れるのではないか。</p>	B	<p>ご意見については、現在、研究科の設置に関する国への認可申請の準備中のため、プランには記載しませんが、未病について学ぶことができる科目についても開講する予定で準備を進めております。</p>

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
135	6	老若男女問わず行うダンスエクササイズ。小学校や健康センター、観光地などで行い、動画を県ホームページ・YouTubeなどで公開。場合によってはラジオ体操の代用とする。手軽にできる薬膳料理を料理教室や公共機関での食堂でメニュー化。民間の飲食店等にも導入の働きかけを行う。社会参加のため、高齢者がコミュニティーセンター等での習い事参加費に対する助成金支給。社会参加のため、夏祭りを発表の場とする熟年盆踊り教室や伝統芸能教育。	C	ご意見については、具体的な取組みの提案であり、プランには記載しませんが、今後の取組の参考とさせていただきます。 なお、薬膳料理については、県西地域で薬膳料理が食べられる施設を「未病いやしの里／里の宿・レストラン」に認定し、美味しく「未病を改善する」食生活の普及に取り組んでおり、引き続き周知を図ってまいります。
136	5	現在の日本社会は24時間社会になり、パーソナル電子機器が急速に普及し生活は快適、便利になっております。 その反面、睡眠不足の国になり、それが国民の健康や社会現象に影響を与えていることが分かって来ています。 ヘルスケアを論じる中に、睡眠不足を解消する術や改めて睡眠の重要性を伝える部分が少ないような感じがしております。	A	ご意見については、未病（ME-BYO）の取組みの中で、「食・運動・社会参加」を中心とした取組みの「運動」の取組みの中に「睡眠」も含んでおり、適度の睡眠をとることの大切さについてお伝えしております。
137	6	地域（自治体）の環境整備等につきまして、行政主導であってもまったく問題ないのですが、もう少し「地域住民で個人を見守る」ようなスタンスがあってもいいのかなという印象を受けております。なんせ人手不足ですから。合わせて、県が主導する形で自治体単位でのSIBを推進していただいてもよろしいかとも思います。各自治体からの課題抽出⇒公募等、中間、最終目標につきましても明確にさせていただきますとますます精進させていただけるように考えます。	C	ご意見については、地域における見守りのあり方については重要な課題と考えており、今後の取組みの参考とさせていただきます。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
138	5	<p>ME-BYO 領域への取り組みについては、予防・健康増進による将来の医療費削減の観点からは必要性の高い取り組みである。一方で未病関連サービスの利用には受益者と費用負担者が必ずしも一致しないといった問題もあり促進的に利用されていない。理論的には、現在の健康増進に対する支出が将来の医療費を削減するのであれば、削減見込みの医療費を財源として健康増進サービスの補助をするべきである。しかし、未病関連サービスはエビデンスが乏しく、補助の妥当性が主張できないところがある。この点をいかに解消するか、つまり市場の出口側でのマネタイズの仕組みづくりが神奈川県が将来的に実を結ぶかの分水嶺になる。ちなみにデジタルヘルスの領域では、費用対効果が見込みやすい、遠隔医療や遠隔治療、救急医療の多職種連携などが保険適応に向けて治験が取り組まれている。短期でマネタイズできる少し医療寄りの施策についてもターゲットに入れることで県民の予算を使うことへの納得感を持たせるバランス感覚も必要ではないか。未病関連ではリビングラボ制度についての取り組みがあるが、ベンチャー企業向けと大企業向けで支援の方向性が異なることが想定されるため、それぞれにおいての県の意向、出口戦略の整理などの整理も限りあるリソースを有効活用する上で重要ではないか。</p>	A	<p>ご意見については、「第4章具体的な取組み2(1)未病(ME-BYO)」に、未病指標の活用および未病改善行動によりインセンティブが付与される保険制度改革や民間活用を促進することを記載しております。</p>
139	5	<p>再生医療においては近年ではベンチャー主体の市場形成から、大手製薬企業などの資本力のあるプレーヤーの参入が相次いでいる。海外品の導入も進み、今後は国内での開発・臨床試験も増加する見込みである。神奈川県としてはLICにて支援を行っているが、バリューチェーン全体を見渡したときに、どこに対する支援を厚くすることが神奈川県が目指す方向性なのかを明らかにしたほうが良いのではないかと考えられる。限りある資源をどのように投下するか、選択と集中が必要と考えられる。</p>	C	<p>ご意見について、選択と集中が必要であると考えておりますので、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>
140	5	<p>自治体が行い、国に先行するプログラムとして、たいへん注目できる。特にリビングラボは全国でも松本等の事例があるが、生活者の行動変容と産業化促進を両立させ、社会実装までを行う取り組みとして注目している。生活者の行動変容に対しては、ポイント制などの取り組みがみられるが、基本的には自己の健康維持・向上が重要であり、さらに健康情報活用等で他社や社会への貢献ができれば一層素晴らしいと思う。</p>	A	<p>ご意見については、「自己の健康維持・向上の重要性」について、「個人の行動変容につながる商品・サービスの社会実装モデルの検討・検証」という形で24ページに位置付けており、また、「健康情報活用等で他社や社会への貢献」について、「予防接種歴や健診結果をマイME-BYOカルテに連携させるとともに、蓄積したデータをアカデミアや民間が活用する仕組みを構築する。」という形で28ページに位置付けております。</p>

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
141	5	未病指標を検討・検証し、確立していくことにも期待している。年をとると完全な健康は難しいが、若干の病気はあってもという範囲でアカデミアを含めて未病を検討され、生活者や産業化に貢献し、それが国へも働きかけて制度化されるようなことを期待している。	E	ご意見については、行動変容を促進していくためには、未病の見える化を図る必要があると考えていますので、自分の現在の未病の状態や将来の疾病リスクを数値で見える化する「未病指標」の構築に取り組んでまいります。
142	7	より具体的な身近な事例（想定事例）を付記いただくと県民により理解されやすいと思いました。	A	ご意見については、「スマイル100歳社会における県民生活のイメージ」（4ページ）や4つの重点領域で実現されること（現状と将来像）（11ページ）として、県民生活の中で捉えることができるよう記載しております。
143	5	人間の生活は24時間を単位としているため、ライフスタイルの異常の科学的評価（数値化、見える化）のためには生活・生体情報をウェアラブルセンサで計測・分析し、ICTシステムにより各個人にその情報をフィードバックし、各人が問題点を自己認識した上で自己改善支援できれば理想的と考えられる。2017年度より神奈川県予防医学協会「かながわME-BYOセンター」では、日常生活における睡眠・運動・精神ストレスなどライフスタイルを数値計測できる健康腕時計を活用して、自らの生活習慣病プログラムを実施し、ある程度の成果をあげているが、得られる情報は限られているためのセンサーを現在開発中で、それを「かながわME-BYOセンター」に活用予定である。	E	ご意見については、ICTを活用した未病の見える化及び行動変容の促進は、非常に重要な取り組みであり、県としても市町村・アカデミア・関係機関と連携し、課題解決に向け取り組んでまいります。
144	5	未病産業の捉え方が少し、物理的身体の健康に偏っているような気がします。われわれ、まちづくり観点からは是非下記のような観点を入れてほしいと考えます。 1. 環境改善が、街の環境改善につながり個々人の健康改善につながる。つまり正しく（仮称）未病タウンづくりを推進するには 2. 街づくりにおいて、未病促進につながる要素の研究 3. 未病を促進するために必要な設計思想とは 上記観点を是非とも、推進したいです。部会でもかまいません。そうすると、ディベロッパー・鉄道事業者等々ももっと本気で考えたいと思います。	C	ご意見については、街づくりの観点からの未病産業の取組みの具体的な方法であるためプランには記載しませんが、未病産業研究会における議論などで参考とさせていただきます。

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
145	5	<p>「第5章 各主体に対する取組みの強化」(2)企業の立場から記載。1990年からは3年ごとに生活定点観測調査を行っており、この生活 定点観測調査から今後の生活動向を予測しています。この生活動向予測や学術的な客観性を持ちつつ、生活者の視点で健康への効果などを取りまとめた研究レポートを活用することで、「未病改善」のみならず「人生100歳時代の設計図」に貢献する商品やサービスの開発につなげることも考えております。</p>	E	<p>ご意見については、超高齢社会を乗り越えるためには、未病の改善に関連する具体的な商品やサービスなどを提供する「未病産業」の創出、拡大が重要であるため、未病産業研究会の取組みを中心に、未病産業の普及拡大に努めてまいります。</p>
146	5	<p>第4章 具体的な取組み 第4章の構成が分かりにくい(とくに13~14ページ)。特に⑩13ページの「4つの重点領域で実現されること(現状と将来像)」は、5ページの「3 重点領域」の後ろに移したほうが分かりやすい。⑪14ページのこれまでの「取組みの成果」は、10ページの「第4章 具体的な取組み」の「1 今後の政策の方向性」の前に移したほうが分かりやすい。⑫上記⑩、⑪の移行を行うと12ページに記載された(1)~(6)が、16ページ以降で再度(1)~(6)として記載されることとなる。12ページ(1)~(6)の記述部分は、それぞれ16ページ以降の(1)~(6)の各冒頭部分に移したほうが分かりやすい。</p>	D	<p>ご意見については、改めて検討した中で、素案でお示した構成が最適であると判断しました。</p>
147	5	<p>「マイME-BYOカルテ」に関する記述 26ページの(5)⑬では「マイME-BYOカルテ」とマイナポータルとの連携について触れているが、「マイME-BYOカルテ」は、政府が導入する「PHRサービス」と機能が重なるため、整理が必要ではないか。</p>	B	<p>神奈川県のアプリ「マイME-BYOカルテ」は、健診結果だけでなく、母子手帳の記録やお薬情報、日々の歩数や体重など幅広い健康情報を蓄積し、生涯にわたる健康情報(ライフログ)として管理できるツールとなっています。</p> <p>ご意見にある「政府が導入する『PHRサービス』」について、現時点でその詳細が明らかになっておらず、現在も内閣府等と本県の取組みについて情報共有をしながら進めておりますので、ご意見についてはプランには反映いたしません。今後も、国の取組みとの役割分担や差別化を図りながら、「マイME-BYOカルテ」とマイナポータルの連携などの取組みを進めていきます。</p>

延べ 件数	意見内 容区分	意見の概要	反映 区分	県の考え方
148	2	メタボリスクに関する「未病指標」（「メタボリスク指標」）未病指標について、まずはメタボリスクに関する未病指標の活用からスタートする姿勢は評価できるが、特定健診・特定保健指導といった既存の制度との関係（連携関係、棲み分け）がよく見えない。補記が望まれる。	C	ご意見については、メタボリスク指標の活用方法については、各保険者との調整の中で検討していくため、プランには位置づけませんが、今後の取組みの参考とさせていただきます。
149	7	なぜ神奈川県が取り組むのか。10行目語尾「... があるのです。」、27行目語尾「... があるのです。」、38行目語尾「... できるのです。」と、同じページの中に3回の「... のです。」の語尾は過剰に感じる。	A	ご意見については、文尾の修正を行いました。
150	5	第5章（1）個人「（ICTを活用した自己管理）」の説明文に「マイME－BYOカルテを普及し、... 」とあるが、「普及する」は自動詞なので、「マイME－BYOカルテを普及させ、... 」とすべき。	A	ご意見については、文言の修正を行いました。
151	7	用語 以下の用語についても掲載を検討いただきたい。「リビングラボ」	A	ご意見については、「神奈川ME－BYOリビングラボ」として、用語を掲載しております。